



とらいあんどぐる



2015 年 11 ・ 12 月

一音会ミュージックスクール発行

「カラス」

「音楽祭」にむけて、オペレッタの練習がスタートしています。

私は、すでに40代後半ですが、子ども時代、生徒の一人として「ドレミの歌」に出演したことがあります。

実は、現在、教室にお子さんを通わせてくださっているお父さま、お母さまの中に、「あの時、“しらゆきひめ”で“こびと”だった人だな」という顔を見つけることもあります。

一音会の「音楽祭」が、どのくらい歴史が古いものか、お分かりいただけるでしょう。

私の子どもたちも、「音楽祭」のいろいろな演目に、毎回、出演してきました。

書ききれないほどの思い出がありますが、1つ、最近になって特に、よく思い出す思い出があります。

それは、息子のユメキが「大きなトウモロコシ」に出演した時のことです。ユメキは3歳でした。

ユメキは、今でこそ中学生となり、身体も大きくなりましたが、小さな頃は弱虫で、こわいことやこわいものが、たくさんありました。

何でもないことが、いちいちこわいので、たいへんでした。

「大きなトウモロコシ」では、黄色いTシャツを着た子どもたちがトウモロコシにふんし、カラス役の先生と、かけあいをするストーリーでした。

こわいシーンは1つもなく、むしろどこかユーモラスで、ほのぼのとしたストーリーです。最後は、「生まれてきてよかった」と、みんなで声をあわせて歌う、ちょっと感動的なハッピーエンドです。

練習は、とてもスムーズでした。

ユメキは、毎週、レッスンの中で、楽しく歌ったり踊ったりしていました。

ストーリーをどこまで理解できていたのかは分かりませんが、歌が大好きで、家でもよく歌って練習をしていました。

しかし、本番が近くなるにつれ、私の中には、1つの不安がわきあがってきていました。

カラスは、ユメキの「こわいものリスト」に入っていたのではないだろうか？

とにかく、こわいものが山のようにあり、しょっちゅうこわがって泣いている子どもでしたので、母親の私でも

「こわいものリスト」のすべてを把握するのは難しいことでした。

あれ？ カラスはこわいんだっけ？ こわいのはハトだっけ？ 犬がこわいのは確かだけれど、鳥関係もダメだったような・・・。

それがはっきりしたのは、リハーサルの時です。

リハーサルには、普段のレッスンの時にはいなかった、カラス役の先生がいました。

黒いくちばしと黒い羽をまとった先生を見るやいなや、火がついたように泣き出しました。

ああ、そうだった・・・やっぱりカラスもダメなんだった・・・。



まだほんの赤ちゃんの頃、ベビーカーに乗せて道を歩いていて、急にユメキが泣き出したかと思うと、道の先にカラスがいたことがありました。

何か、こわい思いをした、ということではなく、最初からこわいものはこわい、なのです。

理由があつてこわいのなら、まだなだめる方法がありますが、それもないので、どうしようもありません。

困りました。

だって、もうリハーサルなのです。

今から別のクラスの別の演目に混ぜてもらふことなど、できるはずありません。

リハーサルの日は、とうとう、最初から最後まで、泣いていました。練習はおろか、抱っこの状態から、地面に足をつけることさえできませんでした。

どうしよう、どうしよう……。

悩みながらも、何も策を見つけれないまま、時間だけが過ぎ、とうとう本番当日になってしまいました。

本番のどさくさが、何とかしてくれるのではないかという、甘い見通しが本当に甘かったことを、当日、すぐに

思い知らされます。

舞台袖でスタンバイするところから、もう泣いています。

舞台袖で、カラスもスタンバイしているからです。

泣きやむ気配はありません。

こんなに大声で泣いていては、演目そのものを台無しにしてしまいます。

出演をあきらめて、舞台裏に戻りました。

泣きすぎて、Tシャツは涙でびしょびしょでした。身体中の水分が出てしまったのではないかと思うほどでしたので、客席に戻る前に、ジュースを買ってやりました。

ジュースが出てきたことで、もう舞台上がらなくて良いのだと、ほっとしたのでしょう。ユメキは、やっと泣きやみました。

その時です。

舞台裏の廊下の先から、弾丸のように走ってきた人がいます。

その人は、ユメキをいきなり担ぎ上げ、ぐるりと“まわれ右”し、横抱きにかかえたまま、走り出しました。

すごいはやさです。

夏目先生でした。

私も、すぐに先生の意図が分かり、追いかけるように走ります。

先生は、ユメキをかかえたまま、舞台裏を全速力で走り、舞台袖から一気に舞台上に上がります。

先生は、舞台上の生徒さんたちの列のはじめに、ユメキを置き、そっと舞台袖に下がりました。

ユメキにしてみれば、ジュースを飲もうとしていただけなのに、いつのまにか舞台の上です。

舞台上では、ストーリーが進行してカラスの出演シーンが終わり、フィナーレになろうとしていました。

ユメキは、しばらく茫然としていましたが、すぐにいつもの歌と踊りをはじめました。最初はモジモジと、次第に生き生きと。

夏目先生と私は、この時やっと、お互いの顔を見ることができました。

顔を見合わせ、深くうなづきました。

このエピソードは実は、夏目先生の「りとみっくらぶ」第3号にあります。先生にとっても、印象深い出来事であったことを、とても嬉しく思っ

ています。

そのユメキが、もう中学生です。背は私をはるかにこえ、見上げるようになってしまいました。

ずいぶん、生意気なことをいうようになりました。目線が高いので、いちいちえらそうです。

にくらしくなった時には、その思い出をひっぱりだします。

「でも、あの時、カラスがこわかったんだよねえ」

いばってみたところで、しょせん、カラスがこわくて泣いていた人なので。心の中で思い返すと、愉快になってきます。

親は、その子の子ども時代を知っているというのが、最大の強みなのかも知れません。
(江口 彩子)



◆「ピアノ・トライ」のお申し込みを受け付けます

例年ですと、この時期、「ピアノ・トライ」のまっ最中なのですが、すでにお伝えしてきましたように、今年度は年末に「音楽祭」という大きなイベントをひかえているため、年明けに「ピアノ・トライ」をおこないます。

発表会が終わり、日が経ちました。そろそろ人前で演奏する機会を持つのに、良い時期です。

以下の日程で、お申し込みを受け付けます。



(1) 電話申込み (申込み先 TEL 03-5966-7711)

1 2月2日 (水)

1 2月5日 (土)

※両日とも朝 10:00～夕方 16:00 までの受付です。各日先着順とさせていただきます。

(2) 日程 (全て「バッハはうす」でおこないます)

- | | | |
|---|------------------|----------------|
| ① | 1月10日 (日②) | 初級・中級 (夏目先生予定) |
| ② | 1月11日 (月・祝) | 初級・中級 (能勢先生予定) |
| ③ | 1月16日 (土 1・3) | 初級・中級 (山本先生予定) |
| ④ | 1月17日 (日①) | 中級～ (夏目先生予定) |
| ⑤ | 1月23日 (土 2・4) | 初級・中級 (山本先生予定) |
| ⑥ | 1月31日 (日) レッスンなし | 中級～ (夏目先生予定) |

※ 進度は目安ですので、日程的なご都合を優先していただいても大丈夫です。

※ 進度の大きく異なるごきょうだいを、同じ日の時間帯にお組みすることもできます。

(3) 参加費

2160円

※当日、封筒に記名し、なるべくおつりの無いようにお持ちください。

(4) 課題曲

バッハの作品、もしくはエチュード。

ただし、絵音符の生徒さん、まだ五線の曲に入ったばかりの生徒さんの曲目は自由です。

なお、「ル・コンセール」は、1回目を2016年1月24日（日）に、2回目を2月7日（日）に予定しています。講師演奏は、玉井美子先生です。

◆「音楽祭」をおこないます

12月23日（祝）、葛飾区かめありリリオホールにて、「音楽祭」を開きます。

すでに多くの方に、ご参加のお申し込みをいただきました。どうもありがとうございました。

リトミックのクラスやうたくらぶでは、練習に熱が入ってきたところですが、レッスンでの練習とは別に、ほかのクラスのお友だちと合流し、広いところで動いたり歌ったりするおけいこも不可欠です。次のページに、リハーサルの日程、時間を載せました。

貴重な休日のお時間をいただくこととなりますが、ぜひご参加ください。「音楽祭」当日には、リハーサルをおこなう時間はありません。



音楽祭りハーサル日程

11月23日（月・祝）

時間	Aホール（手前）		時間	Bホール（奥）
***	***		10:00～11:00	ねこになりたかった ねずみ
10:30～12:00	星に願いを		11:00～12:00	ひよこのもちつき
12:00～13:00	わがままな王様		***	***
13:30～14:30	子ヤギのおるすばん		13:30～14:30	ハイリトミック
14:30～15:30	ドレミの歌		14:30～15:30	ひよこのクリスマス
15:30～17:30	白雪姫		***	***

11月29日（日）

時間	Aホール（手前）		時間	Bホール（奥）
***	***		10:00～11:00	ひよこのクリスマス
10:30～12:00	星に願いを		11:00～12:00	ひよこのもちつき
12:00～13:00	わがままな王様		12:00～13:00	ねこになりたかったねずみ
13:30～14:30	子ヤギのおるすばん		13:30～15:30	ハイリトミック
14:30～15:30	ドレミの歌		***	***
15:30～17:30	白雪姫			

場所：ひびきホール（豊島区南長崎5-8-12 3階）

西武池袋線 東長崎駅南口より徒歩5分



◆「フォルテの会」を開きます

2月11日（祝）に、「フォルテの会」を開きます。場所は「ひびきホール」、入場は無料です。「フォルテの会」は、ヴァイオリン、フルート、声楽などの副科と、「うたくらぶ」の生徒さんたちの発表会です。

副科に興味をお持ちの生徒さん、ご家族の方には、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。先生たちの演奏も予定しています。

出演申込みのご案内は、1月にお配りします。

◆風邪の季節になりました

寒くなり、今年もインフルエンザが流行する季節がやってきました。スタッフも、体調管理に、最大の注意を払っています。

スタッフは、レッスンの合間に鍵盤を消毒するよう努めていますが、時間的にかなわない場合もあります。生徒さんには、レッスンの前後の手洗いを、お願いいたします。

また、咳やくしゃみが出る場合は、マスクをご着用ください。教室でも使い捨てマスクをご用意していますので、受付でおっしゃってください。

皆で元気に冬を乗り切りましょう。ご協力を、よろしくお願いいたします。



◆テレビ番組取材に協力しました

一音会が協力をしたテレビ番組、「水曜日のダウンタウン」(TBS系列)が、11月4日(水)に放映されました。撮影から放映まで日がなく、放映日を事前にお知らせすることができず、申し訳ありませんでした。

番組内では、絶対音感をテーマに、絶対音感を持った人がお笑い芸人さんの出す音をあてる、という内容でした。絶対音感を持つ人の代表として、松村先生が出演しました。

今回は、スタッフでも良いということでしたのでスタッフの出演となりましたが、生徒さんに出演をお願いしなくてはならない場面も出てくると思います。その際は、ご協力をどうかよろしくお願いいたします。



学校の生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp

電話：03-3954-9999

- * お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。(今年度より、月曜日の夜に行なっております。よろしくお願いいたします)
- * ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。

2015 年のあゆみ

- 1月7日 新年のレッスンスタート
- 3月1日 第16回「フォルテの会」 於 ひびきホール
- 3月14日・15日・16日
プリドノフ先生ご夫妻 レッスン 於 ヘンデルはうす
- 3月21日 プリドノフ先生ご夫妻 コンサート 於 ひびきホール
- 3月22日 第10回「ジュニアコンサート・オーディション」
於 ひびきホール
- 4月7日～ 2015年度レッスンスタート
- 4月28日 第10回「ジュニアコンサート」 於 ゆめりあホール
- 7月11日～21日リハーサルトライ 於 ヘンデルはうす
- 7月30日～8月2日
2015 ピアノ発表会 於 成増アクトホール
- 11月3日 第17回「音楽の集い」 於 ひびきホール
- 11月4日・5日 ロルフ・プラグゲ先生 レッスン 於 ヘンデルはうす
- 11月8日 ロルフ・プラグゲ先生 コンサート
於 かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール
- 11月23日・29日・12月20日
2015 音楽祭 リハーサル 於 ひびきホール
- 12月23日 2015 音楽祭 於 かめありリリオホール

